

**【CSW55 第1日目】2月20日(日)**

**【日付】**2011年2月22日、9:00-16:30

**【場所】**Church Center for the UN (CCUN)

**【題目】**Ecumenical Women's Orientation for CSW

**【主催者】**Ecumenical Women

**【内容】**

このオリエンテーションは、世界各国のキリスト教を基盤とする団体(16団体)で構成される Ecumenical Women が主催したもので、加盟団体からの参加者を対象として開かれた。Ecumenical Women は、国連経済社会理事会の特別協議資格を持つ NGO で、公式会議等への出席や協議内容に対する意見表明等できる資格を有す。オリエンテーションでは、今回の CSW の合意結論 (agreed conclusion) に反映させるべき事項についてまとめた声明文の内容について全体で共有したり、CSW 開催期間中、Ecumenical Women の一員として果たす役割等について地域ごとにグループに分かれ協議した。その他、新しく設置された UN WOMEN の情報や特徴に関するレクチャーも行われた。

世界 YWCA は、このオリエンテーションの準備団体の一つとして関わっており、特に「FAITH AT THE UN GENER IN THE CHURCH~Ecumenical Women's Guide to Advocacy~」の編纂に携わった。また、オリエンテーションの最初には、ニャラザイ・ゲンボンズバンダ総幹事からスピーチがあり、「私たちは、CSW に出席するために N.Y に集まることができたことにまず感謝しましょう。そして、会議期間中は、世界中の他の女性や少女たちの声となり、彼女たちが抱える問題や願いを伝えることに力をあわせて邁進してきましょう」というメッセージが伝えられた。オリエンテーションの最後には礼拝が行われ、参加者一人一人が、オリエンテーションで感じた言葉を紙に記し、音楽が奏でられるなか、その紙をチャペルの中央に設置された大きなプロペラに貼っていった。そして、最後に、それが回されると、Ecumenical Women の誓いの風がチャペル中に広がり、心静かなときを参加者と共に分かち合うことができた。(福島)

**【Ecumenical Women 構成団体】**

Anglican Commission Observer, Association of Presbyterian Women Aotearoa New Zealand, Church Women United, Episcopal Church (USA), Evangelical Lutheran Church in America, Lutheran World Federation, National Council of Churches (USA), Presbyterian Church (USA), Salvation Army, United Church of Christ, United Methodist Church, World Conference on Religions for Peace (collaborator), World Council of Churches, World Federation of Methodist and Uniting Church Women, World Student Christian Federation, World YWCA